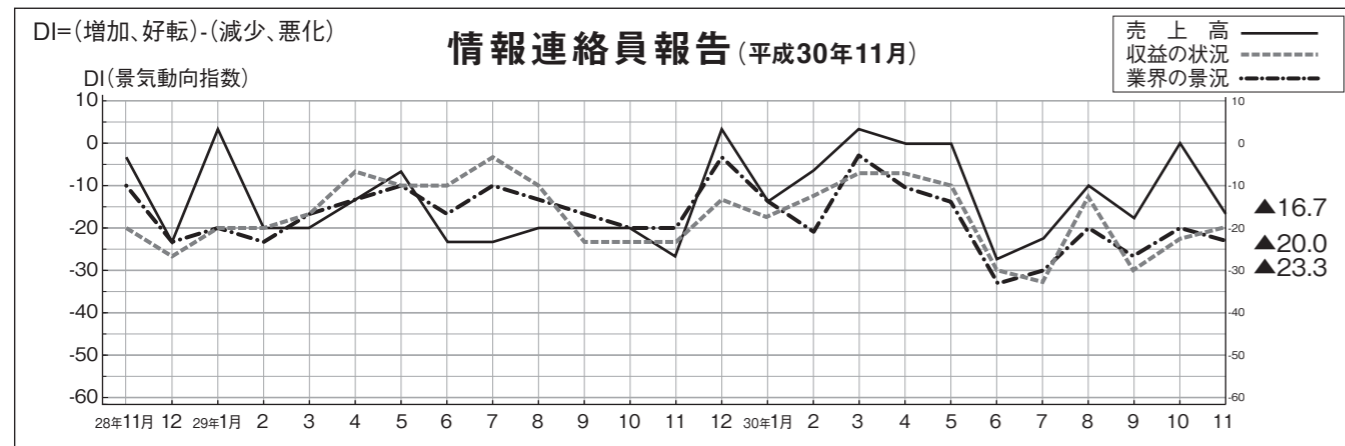


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向 2018年11月(前年同月比)



業界の状況 ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☁️...悪化

- 食品団地**
10月より運賃の値上げが進み、収益に大きな影響を与えている。原材料、人件費、運賃等を収益でカバーするには非常に厳しい状況で、製品の値上げがやむを得ない状況となってきた。
- 生コンクリート製造**
出荷量は前年同月比110%。先月に引き続き、今月も前年比はプラスであったが、絶対量が少ない。
- 酒類製造**
飲酒人口の減少とともに、県外市場での競争激化がみられる。減少が続く中、日本酒ならではの「熱燗」の見直しや、季節料理に合う日本酒の飲み方をアピールしたいところである。
- コンクリート製品**
出荷数量は前年同月比54%。市況は、減少状況が続いている。
- テントシート**
原油価格の高騰に加え、動燃費の値上がりや人件費、物流コスト上昇等により、テント、帆布、ターポリン(塩化ビニール製の防災・防水生地)を初め産業資材が値上げとなったため、在庫数量が多少増加している。
- 機械団地**
団地内は一部の業種で落ち込みが見られるが、前年並みの業況で推移している。従業員の確保難に加え、需要の停滞や原材料コストの上昇などが主な経営課題となっている。
- 木製品素材生産**
スギ・ヒノキとも搬入量は20%程度増加。価格はスギ・ヒノキともに横ばいである。
- 刃物製造**
最近、動向にあまり変化はみられない。ただし、商品の供給不足は相変わらず蔓延している。
- 製材**
年末を控え多少の動きは見えてきたが、大きな変化もなく現状維持の状態が続いている。
- 船舶製造**
操業度は、受注残の消化等により、高い水準で推移している。
- 製紙**
県内家庭紙メーカーは、収益面で厳しい状況が続く。マシンはほぼ稼働状況であるが、従業員の高齢化に伴う人手不足が今後の課題となる。
- 珊瑚装飾品製造**
11月製品会取引高は、前年同月比150%であった。毎月の製品会取引高の前年度比率の増減は、小売店の売上には直接つながっていない。
- 印刷**
県内需要は官公需、一般共に微減が継続しているが一部増加傾向も見られた。県外需要に関しては一部業種が好調、他にも増加傾向が見られ、全体的に久しぶりに前年を上回った。
- 卸団地**
ガソリン価格の高止まりと人件費の高騰により、経営が圧迫されている印象が強くなってきた。また、野菜やその他食品の高騰も景気低迷の原因と思われる。

青果卸売
入荷量は、前年同月比では、野菜は100%、果実は85%と低水準であったが、気温が例年以上に高い日が多く、冬物商材が低調であり、結果として4ヶ月ぶりに前年を下回る結果となった。

商店街(四万十市)
本年は、「土佐の小京都中村550年祭」と題して様々なイベントが開催され、11月も、数々の催しがあり多くの人で賑わった。これから年末年始にかけて、小売や飲食店およびここからのシャワー効果によって恩恵を受ける業種の浮上に期待したい。

生鮮魚介卸売
全般的に漁獲量が少ないことに加え、高値で取引される県外(大阪、名古屋、関東等)に流れることから、高知市場への入荷が少ない。特にマグロは、先月に引き続き少なかった。

旅館・ホテル
天候に恵まれたこともあり、シンポジウムや全国大会、企業の社員旅行等が予定通り催行されたことに加え、秋季イベントを目的とした観光客がまんべんなく入り込み、よい結果に繋がることとなった。

各種小売(土佐市)
11月も動きが感じられない。土佐市のポイントカードの抽選会では、昨年2倍の本数が出たが、各小売店は寂しい状態が続いている。

飲食店
例年売り上げが減少する月ではあるが今年は特に悪く、前年度比先月比共に売り上げが減少、3連休の集客も振るわず景況が悪化した。

ガソリンスタンド
米政権が対イラン経済制裁を発動する直前、イラン産原油禁輸の適用除外を8カ国認めたことにより、原油の供給不安は後退し、WTI原油はバーレル53ドル台に下落した。高知県の価格も11月初旬より値下がりとなった。

旅行業
組合クーポン売上前年同月対比104%、全旅クーポンを加味して118%。総売り上げも順調に推移してきているが、自然災害等不測の事態への対応が万全とは言えず、業界の景況も決して楽観視は出来ない。

電気機械器具小売
全商品トータルで、前年比95%。エコキュート105%、白物家電89.5%、テレビ68.0%。(販売金額比)

一般土木建築工事
平成30年11月分の公共土木生コン出荷量は、前月比123.5%、前年同月比108.7%。平成30/4~30/11累計においては前年同月累計対比85.5%の水準。11月の公共工事請負金額は前年同月比で89.0%、前年対比累計金額では90.9%。

中古自動車小売
現状維持の状態。消費税10%やエコカー減税等の動向が気がかりである。

電気工事
高知中央、須崎地区の組合員が施工する電力引込線関連工事量の伸びが大きく、前年同月比156%となった。

商店街(安芸市)
当月は、特に大きな動き等もなく推移した。また、空店舗を活用したコミュニティの場づくりに引き続き取り組んでいる。

一般貨物自動車運送
燃料価格は数円の値下げで少し落ち着いた。組合実績は昨年比ほぼ同額であるが、業界のドライバー不足は深刻化し組合員事業者は12月の繁忙期に影響がでそうである。

商店街(高知市)
中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比100.7% 台数:前年比99.6%。イルミネーションの点灯も始まり、歳末の雰囲気盛り上げるものの、暖冬により衣料関係の動きは低調気味にある。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:95.7%、輸送回数:94.9%。当月の実働率(車両稼働率)は68.9%。運転者不足のため、車両稼働率が悪く、営業収入が減少気味である。

挑戦の数だけ、
保険がある。

To Be a Good Company
東京海上日動

